

第 八 號

七十七歲老嫗

一八七五年（明治八年）五月

1

にちにち つきひ ざんねん やまやま つも あ は
日々に月日残念山々と 積りて有るを晴らしたいから

月日每天累積的遺憾，已經堆積地有如山一般。
想將這些遺憾都清除掉。

2

このはなし つきひ おもわく だんだん なに よろず たす
此話月日思惑段々と 何か万の救けなるのは

這些話 是月日的思慮：何謂拯救一切？要一點
一點說出來。

3

しんじつ　　こころ　しだい　　ど　　よう　　つと　　みなたす
眞実の心次第に何の様な　勤めするのも皆救けやで

憑藉著眞實之心，不論奉行哪一種聖舞，神都會去拯救。

4

つきひ　　せかいじゅう　　みな　わ　　こ　　たす　　こころ
月日には世界中は皆我が子　救けたいとの心ばかりで

對月日來說，世界上的人都是我的子女，一心一意只想要去拯救。

5

其^{その}処^{ところ}差^さし止^とめられて^{ざんねん}残念な^{そののち} まだ其^と後^はは取^はり払^はい迄^{まで}

遭到制止是多麼的遺憾，而且之後還被禁止。

6

其^{それゆえ}故^{たす}に救^{づと}け勤^{でけ}めが出来^{つきひ}んから 月^{こころ}日^{なん}の心^{ざんねん}何と残念

因爲這樣而沒辦法奉行拯救聖舞，月日的心裡
感到很遺憾。

7

つと つきひ だんだん て おし にんげん ところ な
勤めでも月日段々手を教え 人間なるの心では無い

月日一點一點教導聖舞的手勢，並不是出自於
常人之心。

8

ど よう こと にんげん ところ あ さらに おも
何の様な事をするのも人間の 心有るとは更に思うな

不論月日做什麼事情，都千萬不要以為混有常
人之心呀！

9

此処如何な話も月日也 何んな模様も皆月日やで
このところ いか はなし つきひ なり ど もよう みな つきひ

在這裡不管什麼話都是月日所言，什麼樣的準備也是月日所為呀。

10

如何なるの障り付いても人間の 心は更に有ると思うな
いか さわ つ にんげん こころ さら あ おも

你們的身上不管起了什麼樣的「障礙」，也千萬別以為是出於常人之心。

11

このよう はじ だ つきひ ど こと し こと な
此世を創め出したる月日なら 何んな事でも知らぬ事無し

既然這世界是月日所創，沒有什麼事情是月日
所不知。

12

せかいじゅう いちれつ むね うち つきひ ほう みなうつ なり
世界中一列なるの胸の内 月日の方へ皆映る也

世界上所有人的內心，全都映照於月日。

13

それし　みなにんげん　こころ　わがみ　しやん　おも
其知らず皆人間の心として　我身思案をばかり思うて

不知道這道理，所有人心裡想的都只有自己。

14

このさき　みなだんだん　しんじつ　みち　おし　こと
此先は皆段々と真実の　道を教える事であるから

今後，月日會一點一點教導你們真實之道上一切的事情。

15

このよう はじ だ つきひ なり なに いさい みなおし か
此世の創まり出しは月日也 何か委細を皆教え掛け

這世界是月日開啓的，任何事情の細節都會教導給你們。

16

それまで たれ し もの な なに つきひ しやん
其迄は誰か知りたる者は無し 何か月日の思案ばかりで

到那時之前，這些事都沒人知道，一切都只是月日的思慮而已。

17

きょう まで なによ こと つきひ ゆ 言うてあれども ま わか
今日迄も何様の事も月日やと 言うてあれども未だ分らんで

任何事都是月日所爲，到今天已經告訴過你們，
但你們還是不明白。

18

しか き この よ はじ しんじつ ゆ はなし と
確と聞け此世創めた真実と 言うて話は説いてあれども

仔細聽好，創造此世的實情雖然已經說過了，

19

世界には誰か知りたる者は無し 何を言うても分り難ない

但世上的人們卻誰也不明白，很難了解究竟在說些什麼。

20

其筈や此世創めて無い事を 段々口説きばかりなるから

這是理所當然的呀，這些都是創世以來從未有過的事，一點一點反覆地說出來。

21

このよう はじ だ しんじつ し お こと
此世の創まり出しの眞実を 知らして置かん事においては

有關創造此世的實情，不得不讓你們知道。

22

いままで たす いちじよ まま と ほんしんじつ し こと
今迄も救け一条と間々説けど 本眞実を知らぬ事から

至今已說了不少關於全心拯救世人的事情，但
最眞實的事情你們還不知道。

23

ど よう こと つきひ ゆ こと や これしんじつ おも き
何の様な事でも月日言う事哉 此真実と思て聞くなら

不論什麼事都是月日所言，但只有當你們把它
當真實的事情來聽的時候。

24

ど よう こと だんだん ゆ き これ まこと おも き わ
何の様な事も段々言て聞かす 此を真と思て聞き分け

不論什麼事情都會一點一點說給你們聽，要仔
細聽好，並把它當真。

25

このよう ^{ほんもと} 此世の本元なると言うのはな ^ゆ ^{このところ} 此処より ^{ほか} 他に ^あ 有るまい

能被稱作是世界根源的，除了這裡以外別無他處。

26

このはなし どう ^ゆ 此話如何言う事 ^{こと} ^{おも} に思うかな どう ^ゆ 如何言う話 ^{はなし} も ^{みな} 皆したいから

你們認為這話是什麼意思呢？不論任何事情都想跟你們說。

27

このよう はじ だ
此世を創め出したる真実を 皆一列は承知せえねば

有關創造此世的實情，一定要讓所有的人都知道。

28

ど よう たす
何の様な救けするにも人並の よう こと ゆ な
様な事は言うで無いから

不管是施予什麼樣的拯救，都不會只說些一般的事情而已。

29

いままで み こと あ こと こと ゆ な や
今迄に見えたる事や有る事は そんな事をは言うで無いぞ哉

月日不會說那些已經看見的、發生過的事情，

30

これまで な こと ゆ き しんじつ たす や
此迄に無い事ばかり言て聞かし 真実よりの救けするぞ哉

說給你們聽的都是至今未曾有過的事，賜予真實的拯救啊。

31

このたす どう ゆ こと おも ほうそ よ まも こしら
此救け如何言う事に思うかな 庖瘡せん様の守り拵え

你們認爲這拯救究竟是什麼呢？是爲賜予遠離
庖瘡之祐身符所作的準備呀。

32

またたす じゅうよう いつ なり の なり はや
又救けおびや自由何時也と 延ばし也とも早めなりとも

還有安產拯救呀！不論是時間延後或是提早也
好，都依自由的神祐。

33

此程こらほどの自由じゆうよ自在じざいを言ゆうのもな 容易よいなる事ことと更さらに思おもうな

但說到這樣自由自在的祐護，卻千萬別以爲是容易的事。

34

月日つきひには大抵心たいてえは尽つくせども 世界中せかいじゆうは未まだ世界せかい並なみ

月日已經費盡了相當多的心力，但世界上的人們卻還只是一般見識。

35

このよう はじ だ
此世を創め出したる本心を ゆ き こと
言うて聞かさん事においては

神開創此世の本意，一定要說給你們聽才行。

36

このところつと ばしょう にんげん はじ だ ところ や
此処勤め場所は人間を 創め出したる処なるぞ哉

這奉行聖舞之處，就是創造出人類的地方啊。

37

にんげん はじ だ このおや ぞんめえ これ まこと や
人間を創め出したる此親は 存命でいる此が真哉

創造人類的父母依然在世，這是真的哦。

38

このはなしこれ まこと おも もの どこ もの さらに
此話此を真に思う者 何処の者でも更にあるまい

把這話當真的人，不論到哪裡也找不到。

39

このよう な こと ゆ 此が 眞実皆眞やで
此様な無い事ばかり言うのはな

雖然盡說些從未有過的事，但都是真實、千真萬確的呀。

40

いままで な せかい はじ し こと おし はじ
今迄も無い世界をば創めたは 知らぬ事をば教え始めて

即便到現在，神開啓了原本不存在的世界，開始將未知的事情教導給你們。

41

このたび また な こと し こと ばかり 言ううて また おし か
 此度も又無い事や知らぬ事

這一次，又盡說些、教導些未曾有過、沒人知道的事情。

42

ど よう もの し こと これ おし つきひ おもわく
 何の様な者でも知らぬ事ばかり 此を教える月日思惑

月日所思慮的，全都是要教導這些沒人知道的事情。

43

つきひ だんだん し こと なに おし せかい たす
月日には段々知らぬ事ばかり 何も教えて世界救ける

月日會一點一點教導這些沒人知道的事情，爲
的是要拯救世界。

44

こらほど おも つきひ しんぱい せかい もの なに し
此程に思う月日の心配を 世界の者は何も知らずに

月日這樣子思量又擔心，世上的人們卻什麼都
不知道。

45

こころ　つきひ　しんじつ　う　と　ど　たす　みな　う　や
心さい月日眞実受け取れば　何んな救けも皆請け合うで

眞心若能眞實地被月日接受的話，什麼樣的拯救都會得到保證。

46

ど　よう　たす　ゆ　しんじつ　おや　つきひ　ゆ　や
何の様な救けと言うも眞実の　親がいるから月日言うの哉

不論是什麼樣的拯救，眞實的父母都在此。這話
是月日所言。

47

此^{この}月^{つき}日^ひ元^{もと}なるぢばや元^{もと}なるの 因^{いん}緣^{ねん}有^あるで自由^{じゅう}自在^{よじざい}を

在這元始的原地具有元始因緣，月日要施展出
自由自在的神能。

48

此^{この}話^{はなし}何^{なん}で此^{この}樣^よに諄^{くど}いなら 救^{たす}け一條^{いちじょう}請^うけ合^ようの元^{もと}

爲什麼會反覆地說這些話呢？這些都是爲專拯
救作保證的根本。

49

此元は何処このもと どこ たず みを尋ねて見たるとも 知りたる者は更し ものさら あに有るまい

這元始之事，不論到哪裡去尋訪都絕對不會有人知道。

50

其筈や月日体内入り込んでそのはず つきひ たいない い こ 話するのは今初めやではなし いまはじ

這是當然的呀。月日進到身體裡面並講述道理，這可是第一次啊。

51

この せかい いちれつ み つきひ どこ こと し こと な
此世界一列見える月日なら 何処の事でも知らぬ事無し

月日既然能看透這世界所有事情，不管在哪裡
的事情都無所不知。

52

つきひ みなそれぞれ みさだ ぜん あく み わ や
月日より皆其々と見定めて 善と惡とを見分けするぞ哉

月日能明辨所有的人，要把善與惡區別開來。

53

つきひ なん この よ くど あ み き どく
月日より何で此様に諄いなら 悪しき見えるが気の毒なから

月日爲什麼要這樣反覆地說呢？因爲看到邪惡的事情，覺得你們很可憐啊！

54

だんだん おん かさ そのうえ ぎゅうば み みち あ
段々と恩が重なり其上は 牛馬と見える道が有るから

只是不斷地接受神恩而已的話，將來會出現一條有牛與馬的道路。

55

何^どの^{よう}様^{もの}な^{つきひ}者^{しんじつ}でも^う月^と日^{みなたす}真^う実^とを^う受^とけ^と取^とり^とた^となら^と皆^と救^とける^とで

不管什麼樣的人也好，只要他的真心被月日接受的^と話^と都能夠得^と救^と。

56

今^{いま}迄^{まで}は^ど何^{はなし}んな^{はなし}話^{はなし}を^{はなし}した^{はなし}ると^{はなし}も^{はなし}何^{なに}も^み見^みえ^みた^みる^{こと}事^なは^な無^なけれ^など

到現在為止說了很多事情，但什麼都還沒看見。

57

これまで みな み き こと ほんもと し こと
此迄も皆見え来たる事なれど 本元なるを知らん事から

雖然到現在為止已經看到了許多事情，但最元
始之事還沒有人知道。

58

かみなり じしん おおかせみず つ これ つきひ ざねん りっぷく
雷 も地震大風水漬きも 此は月日の残念立腹

打雷也好，地震，大風，以及浸水，這都是
月日的遺憾與憤怒。

59

このこと いままでたれ し 此事を今迄誰も知らんから このたび つきひ さき し 此度月日先へ知らせる

這事情到目前誰也不知道，這次月日要先告訴你們。

60

つきひ みないちれつ わ こ なり かわい いっぱいおも 月日には皆一列は我が子也 可愛一杯思ていれども

對月日來說，世人都是我的子女呀。雖然覺得全部都很可愛，

61

いちれつ みなめえめえ むね うち ほこりいっぱい いつも あ
一列は皆銘々の胸の内 埃一杯積り有るから

但世人的內心裡都累積了太多的灰塵。

62

このほこり そうじ こと つきひ いか ほどおも
此埃すきやか掃除せん事に 月日如何程思うたるとて

這灰塵不徹底清掃乾淨的話，無論月日怎麼思量也起不了作用。

63

つきひ こわ あぶ みちすじ あん めえめえ し
 月日より怖き危なき道筋を 案じていれど銘々知らずに

月日對路途上恐怖、危險的事感到擔心，但人們卻不知道。

64

ど よう たか ところ ゆ つきひ みな わ こ
 何の様な高い処 と言うたとして 月日のたあに皆我が子やで

不論是處在多麼高位的人也好，對月日來說全都是我的孩子呀。

65

それし おや こと さ と また と はろ これ いかが
其知らず親のする事差し止めて 又取り払て此は如何ぞ

不明白這事情，父母做的事情不僅來阻止，還
來拆除，這是怎麼一回事呀。

66

つきひ いままで ど こと あらわ で こと な
月日には今迄何んな事やとて 現れ出たる事は無けれど

到現在為止不管發生什麼事情，月日都還沒有
出現過。

67

このたび　むね　うち
此度は胸の内よりすきやかに　は　晴らさん　こと　あと　もよう
事に後の模様を

這一次非得要徹底掃淨你們的內心，好爲之後
的事情作準備。

68

このあと　ど　よ　もの　いちれつ　たす　しゅだん
此後は何の様な者も一列に　救けたいとの手段ばかりを

不管對什麼人都一樣，今後不論施以什麼手段
都是爲了拯救世人。

69

此^{この}先^{さき}は救^{たす}け一^{いち}条^{じょう}に掛^かかりたら 何^どの様^{よう}な者^{もの}も勇^{いさ}むばかり哉^や

今後若是開始全心拯救世人的話，任何人的心
都會踴躍起來。

70

何^{なに}事^{ごと}も月^{つき}日^ひ一^{いち}度^ど言^ゆうた事^{こと} 違^{ちが}いそ^{こと}うなる事^なは無^ないぞ哉^や

任何事情只要月日說過一次，就絕對不會有差
錯。

71

いままで ^{くど} ほど ^と といて ^あ 有る なれど ^{こころ} 心に ^{わか} 分り ^な 無いから

至今如此反覆地說了又說，但你們心裡卻不明白。

72

しか ^き 聞 ^{おな} け ^{にんげん} 同 ^{よう} じ ^{おも} 人 ^{これ} 間 ^{ちが} なる ^う 様に ^で 思 ^は ている ^は の ^は は ^は 此 ^は は ^違 う ^で

仔細聽好，你們若是以為和常人沒有兩樣的話，那可就錯了。

73

何^どの^{よう}様^{こと}な^{おし}事^かを^{もと}教^{おや}えて^な掛^かかる^もの^も 元^{もと}なる^{おや}親^なで^な無^なく^なば^ない^なか^なん^なで

能夠教導所有事情的人，那個人非是元始父母不可。

74

今^{いま}迄^{まで}も^{なに}何^{おし}を^き教^{みな}えて^{この}来^{どう}たる^りの^はも^じ 皆^か此^か道^か理^か創^かめ^か掛^かけた^かで

不管至今教過你們什麼事情，都是從這個道理開始的。

75

にんげん はじ おや いちにん どこ あ たず い み
人間を創めた親がもう一人 何処に有るなら尋ね行て見よ

創造人類的父母在其他地方還另有其人的話，
不妨就去找看看啊。

76

このよう し こと だんだん ゆ これ まこと や
此様な知らぬ事をば段々と 言うていれども此が真哉

如此將不知道的事情一點一點說出來，但這些
都是真的呀！

77

にちにち し こと な こと これおし つきひ たの
日々に知らぬ事をや無い事を 此教えるが月日楽しみ

月日每天都很樂意把不知道的、從未有過的事情教導給你們。

78

このよう にんげん はじ おや てん あた あ き
此世の人間創め親なるに 天の与えは有ると聞けども

從創世創人的父母這裡，聽到有關「天賜」的事情，

79

このはなしに ^{こと} 此話何の事やら一寸知れん ^{ちよと し} 月日食物やろと言うの哉 ^{つきひ じきもつ} ^ゆ ^や

但你們一點也不曉得這些話在說些什麼，是在說月日賜予的天食呀。

80

このはなし ^{どう ゆ} 此話如何言う事であろうなら ^{こと} ^{かんろうだい} 甘露台に ^{ひらばち} 平鉢を ^の 載せ

這話究竟指的是什麼呢？是要把東西放在甘露台的平鉢上。

81

このさき ああち こうち み さわ つきひ てい おも
此先は彼方此方に身に障り 月日手入りをすると思えよ

今後，身體的「障礙」在這裡、那裡都會出現，
把這些都當做是月日施予的神譴。

82

き わがみ さわ ひ や おな こと はや そうじ
来たるなら我身障りと引き合わせ 同じ事なら早く掃除を

來到這裡的話，和自己身上的「障礙」比對看看，
如果一樣的話就趕快去清掃灰塵。

83

掃除した^{そうじ}処^{ところ}を^{ある}歩き^た立ち^ど止まり 其^{その}処^{ところ}より^{かんろうだい}甘露台^{だい}を

走在已清掃過的地方，當腳步停下來的那裡，
就是甘露台。

84

したるなら其^{それ}より^{つと}勤め^て手^{そろ}を揃い ^{はや}早く^か掛かれよ心^{こころ}勇^{いさ}むで

確立了地點，在那裡齊聚聖舞的人手。趕快開
始吧！內心將因此踴躍起來。

85

此こればかり何処どこ尋たずねても無ない程ほどに 此日本これにつぽんの真しんの柱はしら哉や

這甘露台不管到哪裡也找不到，這可是「日本」
真正的支柱啊！

86

此これさいか確たしか見みえ来きた事ことならば 何どんな者ものでも恐おそる者もの無なし

當這事情確實出現的時候，那不論碰到什麼人
也不必害怕。

87

なに ゆ しんじつ しょうこう み こと あと もよう
何言うも真実なるの証拠が見えん事には後の模様を

不管怎麼說，真實的證據沒看到以前，就沒辦法爲後面的事作準備。

88

ど よう たか ところ もの じゅうよ しだい はなし なり
何の様な高い処の者やとて 自由次第に話する也

不論是任何位居高處的人，神都能隨心所欲與他說話。